

賑わい都市・新宿の創造（歩いて楽しい回遊性のあるまちづくり）

『新宿通りモール化』に向けた検証を行います

まちのメインストリートであり、駅とまちを繋ぐ新宿通りを、より歩きやすく魅力的な歩行者空間とすること（モール化）で、まち全体の歩行者環境やブランド価値を高め、国内外からの観光客の誘致を目指します

■モール化の効果

まちの回遊性を高めるため、歩きやすく魅力的な歩行者空間を創出するとともに、荷さばきに配慮し歩行者環境を改善する。

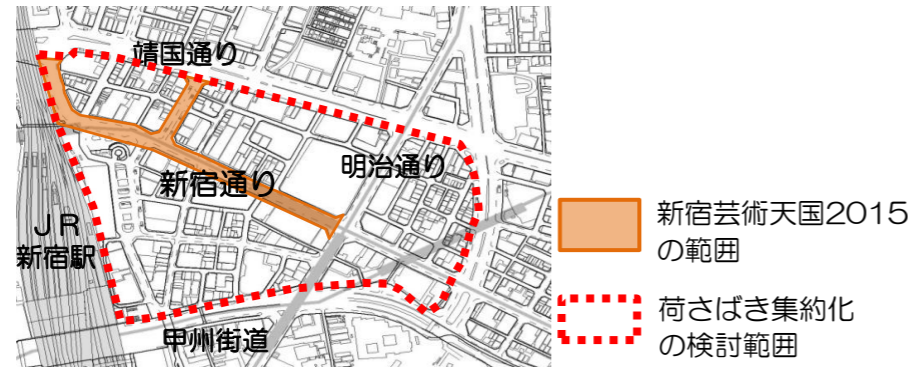
道路空間を活用して、賑わいイベントやオープンカフェ等により、さらなる賑わいを創出する

■検証の枠組み

新宿通りにおける地域イベント『新宿芸術天国2015』の開催に合わせて、周辺道路等への影響の検証及び地区内の荷さばき集約化の検討を行います。

■検証の概要

- 実施日時 平成27年10月23日(金)・24日(土) 10:00~17:00
- 実施範囲



●道路空間の活用

新宿芸術天国2015の開催

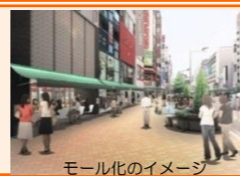
新宿エリアのさらなる活性化、文化創造のまち新宿の浸透・定着化を進めるため、地元組織、事業者等、関係行政機関が一体となって地域イベントを実施します。



●歩行者空間の創出

周辺道路等への影響の検証

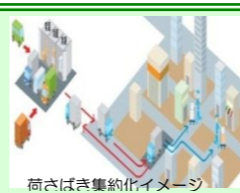
歩きやすさや賑わいの状況に関する来街者アンケート及び地区周辺の交通状況調査を行い、モール化に向けた基礎データを収集します。



●歩行者環境の改善

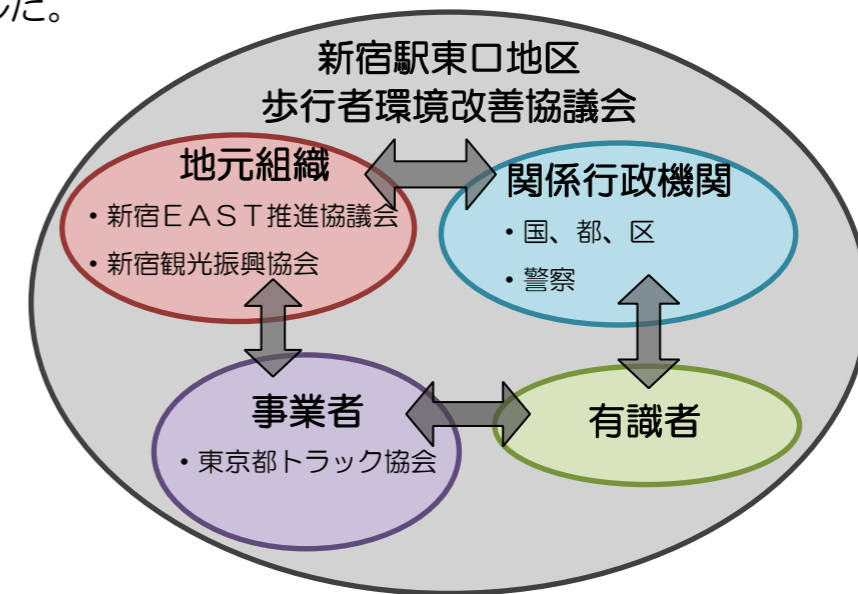
荷さばき集約化の検討

地区内の歩行者環境改善のため、荷さばき駐車を抑制する手段として荷さばき集約化（共同集配等）の検討を行います。

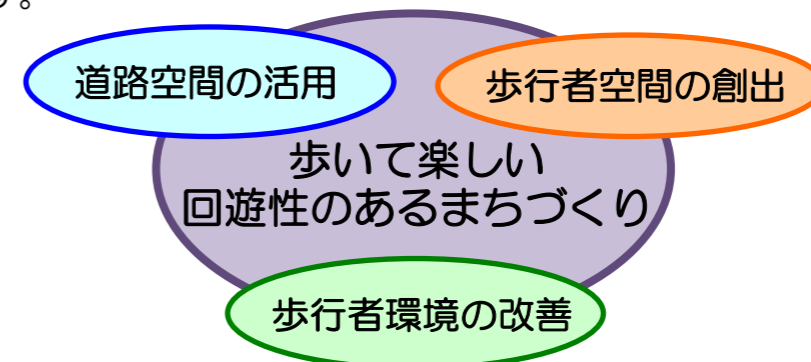


■地元組織、事業者等との連携（協議会の設置）

関係者が連携して課題に取り組み、検証等をより効果的なものとするため、有識者、地元組織、事業者及び関係行政機関等で構成する『新宿駅東口地区歩行者環境改善協議会』を設置しました。



協議会では、道路空間の活用、歩行者空間の創出、歩行者環境の改善について、継続的かつ段階的に課題等の検証を行い、歩いて楽しい回遊性のあるまちづくりに取り組んでいきます。



■東西連携による魅力の創出

西口においては、新宿副都心エリア環境改善委員会が、新宿駅から新宿中央公園を結ぶ4号街路、隣接する公開空地や新宿中央公園を一体的に活用したイベント等を行います。